

雑感

学校という名の「船」に乗って

青い屋根の一軒家を借りて、「わくわく子ども学校」としてスタートした時から数えて、今年で10年目を迎えます。この9年を振り返ってみると、いろんなことが思い出されます。電車好きな子の案内で須磨に行ったこと、カエル好きな子を先頭にカエル取りに行ったこと、手芸が得意な子が入学してきて手芸ブームが起こったこと、熱意のある子どもたちが、テニス部、ダンス部、劇団アニマルズの自主活動をしたこと、タイで暮らした経験のあるスタッフが子どもたちと学校の庭に高床式の小屋を作ったこと・・・いろんな人がそれぞれのタイミングでこの学校にやってきて、新しい出会いが生まれ、新しいデキゴトが起こり、学校としての歳を重ねてきました。「学校を創ろう！」という辻代表の思いと覚悟に満ちた始めの第一歩があったのは14年前のこと。その思いに人が集まり、思いがカタチになり、「わくわく子ども学校」が誕生しました。そこにさらにいろんな人の力が集まって、「箕面こどもの森学園」となりました。その年月は航海にも似ています。民主

的なスタイルで学ぶ新しいタイプの学校を創り、多様な教育の意義を広めるという夢を持ち、学校という名の船を未来に向かって少しずつ進めてきました。航海では、時には嵐で時化る日があったり、船の一部を修理することもあります。順風満帆に進む日は、船の行先を夢で心を満たしながら見つめたり、満天の星を眺めたりもします。ときどき港に寄り、食料や水を積みまます。そんなとき、酒場やカフェに立ち寄り、いろんな人と出会ったりつながったりします。ある乗組員が降り、新しい乗組員が乗ってきたりもします。そして、船はまた航海に出ます。今年の3月、穏やかな晴れの日。5人の6年生と1人の2年生が巣立っていきました。また3人の大人もそれぞれの道に進むことになりました。あたたかい大きな拍手の中、ともに過ごした日々が思い出され涙した卒業式から2週間がたった4月。また新たな仲間が加わってくれました。こうして迎えた10回目の春。小さな学校の大きな挑戦は、これからも続いていきます。(藤田美保)

各種イベントのお知らせ (4月~8月)

教育カフェ・マラソンのお知らせ

昨年10月から始めた教育カフェ・マラソンも、次回で早や8回目を迎えます。次回の話題提供者は、NPO法人DxP共同代表の今井紀明さんです。【日時】5月17日(金) 18:30~20:45【内容】今井さんからの話題提供(40分)、その後フリートーク【場所】NPO法人箕面こどもの森学園【参加費】500円(お茶・お菓子つき)【定員】30名 ※詳しくは学園ホームページをご覧ください。<今後の予定>第9回:2013年6月14日(金) 祖母井秀隆さん/京都サンガF.C.のGM

♪こどもの森子育て講座♪

“子どもの能力が伸びる、親子関係を良くするコミュニケーションのとり方” 相手を大切に思ったり、心配したり、うれしかったり・・・気持ちをそのまま伝える効果的なコミュニケーションのとり方を学ぶ講座です。仲間と体験しながら学べる講座に参加してみませんか。【日時】第1回:5月14日(火)13:00~14:30 第2回:5月21日(火)13:00~14:30 第3回:5月28日(火)13:00~14:30

【場所】箕面こどもの森学園森のサニールーム【講師】守安あゆみ(こどもの森学園スタッフ)【参加費】3000円(3回分)【定員】15名(3名以上で開講します)【申込方法】5月10日(金)までに、電話またはFAXでお申込み下さい。【申込先】箕面こどもの森学園事務局 TEL&FAX 072-735-7676

♪こどもの森教育研修講座♪ 「体感!箕面こどもの森学園」

子ども一人ひとりの学びが大切にされ、子どもがいきいきと育つ小学校。そんな箕面こどもの森学園の模擬授業を大人の方に体験していただける3回シリーズのプログラムです。【日時】第1回:6月15日(土)13:00~15:00 第2回:6月29日(土)13:00~15:00 第3回:7月6日(土)13:00~15:00【場所】箕面こどもの森学園森のサニールーム【講師】箕面こどもの森学園スタッフ【参加費】1000円/回【定員】10名(3名以上で開講します)【申込方法】開催日の2日前までに、電話またはFAXでお申込み下さい。【申込先】箕面こどもの森学園事務局 TEL&FAX 072-735-7676

イオン・イエローシートCPにご協力を!

毎月11日、標題のキャンペーンに運営委員の有志が出かけています。この日にお客さんからシートを集めると、領収書に記された金額の1%がイオンからNPO法人に寄付されます。こどもの森にとって、学園の教材費購入の貴重な財源の一部となっています。毎月11日のお買い物の際は、是非ご協力を、よろしくお願いします。(松崎)

こんな学校に出会いたかった!!

♪♪箕面こどもの森学園生徒募集♪♪ 子どもたちの主体的な学びを支援するオルタナティブ・スクールです。子どもの興味関心を学習の中心にすえ、子ども自身の生活から学習を組み立てるフレネ教育の考えと方法を取り入れています。募集人数:10名程度 対象年齢:6~11歳(小学5年生まで) 場所:箕面市小野原西6丁目15-31 見学:随時 体験入学:見学の後、学校の平常の授業を5日間体験していただきます。入学面接:ご相談の上で日程を決めます。 ※見学、入学ご希望の方はご連絡ください。 TEL&FAX 072-735-7676



アクセス:阪急北千里駅から北へ徒歩15分

《編集後記》

3月22日に5名の6年生と2年生が1名、こどもの森から新しい学校へと旅立ち、4月8日には、新入生2名を迎えました。気持ちも新たに、17名の子どもたちの学園生活がはじまります。今年には学園にとっては、創立10周年の記念すべき年です。本年度も学園へのご支援をよろしく願います。(松崎)



修学旅行で白浜へ

2月に高学年の子どもたち8名と1泊2日の修学旅行へ行きました。行き先は白浜。子どもたちがフリーマーケットや手作り作品を販売して貯めたお金を使つての旅です。1日目は白浜エネルギーランド、海中展望塔、千畳敷、三段壁洞窟を見て回りましたが、特に楽しんでしたのは千畳敷でした。階段状になった岩場を登ると、目の前に海が大きく広がってとてもいい眺め。海の方へ下りていくと磯になっていて、ウニやアメフラシがうようよ。潮風に吹かれながら、しばし磯遊びを楽しみました。夜はドーム型のおしゃれな宿に泊まり、海鮮バイキングをお腹いっぱい食べました。2日目は白浜アドベンチャーワールドへ。あいにくの雨でしたが、館内は傘なしで大丈夫。子どもたちは、イルカショーやケニア号で行くサファリツアー、昨年生まれたばかりのかわいい赤ちゃんパンダを見たりして、楽しい一日を過ごしました。(守安)



大盛況のワールドフェスタ

3学期のテーマ学習は「世界の国を知ろう」。子どもたちは博物館の見学や外国人ゲストの方々との交流を経て、好きな国・地域について調べてきました。その集大成がワールドフェスタです。会場にはインド・エジプト・中国・インドネシア・イギリス・モルディブなど様々なブースが並びます。保護者の方々が来られ、スタッフや子どもも勢ぞろい。いよいよ開催です!前半と後半に分かれ

てスタンプリ形式で行いました。

発表のしかたも十人十色。手作りの民族衣装を着ていたり、フェルトで動物を作ったり、お金や言葉についてまとめたり、建物のジオラマ、世界地図パズルやクイズコーナーも。工夫をこらした個性抜群のブース巡りはお祭りそのものでした。知りたいことや「こんな風に発表したら面白いんじゃないか」を形にしてきた子どもたち。彼らの発想の柔らかさと、発表を聞いてくれる人がいる、ということがこんなにも活気を生むのだということを実感しました。(中尾)



卒業式と卒業を祝う会

3月22日、校庭の桜や参加した多くの人たちに見送られて、個性豊かな5人の卒業生がこどもの森を巣立っていきました。5人は学校への、みんなは5人への思い出がいっぱいの温かな卒業式でした。その後の卒業を祝う会は、低学年の子の司会で始まりました。くり返し練習した合奏や歌やダンス、カードによる5人のエピソード紹介。そして、道のカードゲームでは卒業した中学生も参加してくれました。祝う会は毎年在校生が中心に準備します。「何のためにする会かな? どういう会



発行日:2013年4月15日 発行者:NPO法人箕面こどもの森学園 562-0032 大阪府箕面市小野原西6-15-31 tel&fax 072-735-7676 e-mail kodomomori@nifty.com URL http://kodomono-mori.com/

になればいいかな?」とみんなでアイデアを出し合って、休み時間や放課後など使ってこつこつと準備して、このような温かな手作りの会が出来上がりました。最後に、くす玉を割って5人にエールを送りました。“卒業おめでとう~、離れてもみんな同じ地球の上、これからも応援していくよ!”(平嶋)

入学と進級を祝う会

4月8日、入学と進級を祝う会を行いました。1年生の女の子と5年生の男の子が入学しました。校長からのお祝いの言葉のあと、2人の新入生に可愛いコサージュが贈られました。その後、祝電披露があり、進級した在校生からの一言がありました。「サーフィンの大会で優勝したい」「4年生の漢字をがんばりたい」「今年はもっと友達に優しくしたい」など、それぞれ今年度の目標を話してくれました。スタッフの紹介のあと、在校生から歌のプレゼントがありました。「ダイヤモンド」の曲にあわせて8人の子どもたちが素敵な振り付けのダンスをしながら楽しく歌ってくれました。最後にみんなが新入生のそばに寄り、手のひらキラキラで二人を包みました。

最後はゲーム。まず新入生の「好きな物あてゲーム」をしました。好きな色、好きな食べ物、好きな季節、好きな動物などをみんなで言い当てました。その後、全員参加の「じゃんけん列車」や「誕生日並び」で楽しい会になりました。(芳仲ま)



自由作文紹介

なん読 駅名について

よしたか (4年)

轟木 (とどろぎ): 青森県の五能線にある駅です。串 (くし): えひめ県予讃線にある駅。印旛日本医大 (いんぱにほんいだい): ぼくが好きな駅名です。千葉県にあります。南阿蘇水の生まれる里白水高原 (みなみあそみずのうまれるさと)はくすいこうげん): この駅は日本で一番長い駅名です。稚内 (わかかない): 日本で一番北にある駅です。枕崎 (まくらざき): 日本で一番南にある駅です。

プロジェクトの作品紹介

インドのサリー

ちひろ (2年)

なんでサリーを作ったかという、かわいかったからです。しゃしんを見て作りしました。おもったよりかんたんで、はじめてでもうまくてできました。きかたはむずかしかったです。きたらすずしかったです。



インドネシアの衣装とインドのサリー (右)

《 スタッフ紹介 》

2013年度のスタッフ体制

今年度は、学園長、常勤スタッフ2名、専任スタッフ1名、非常勤スタッフ4名、学習サポーター7名、サポーター1名、事務スタッフ1名の体制で、教育・事務・校務などを担当します(スタッフ一覧表参照)。また、学外講師の江角陸さん(科学実験)、道端慶太郎さん(空から蝶を呼ぶ場所づくり)には、今年度も引き続き来ていただきます。

スタッフの異動

長年にわたり非常勤スタッフをやっていた田中直子さんは、今年度から学習サポーターになられます。これまで学習サポーターをやっていた西江尊徳さんが昨年

ジョギング

すなお (4年)

ぼくは、きのうお父さんといっしょに、ジョギングをしました。お父さんと家を出て10分くらいの時に、お父さんといっしょにまいごになりました。だが、なんとか行けました。上り坂を上る時はくるしかったです。そして、お父さんとぼくは、走っている時に次はどうするかを話していました。お父さんは、ぼくがリタイアすると思っていて、タクシー代を用意してましたけど、いりませんでした。ゴールまでついて、お父さんといっしょによるこびました。そして、家に帰ったらぎょうざを食べたおいしかったです。

ドイツのおしろ

ほのか (2年)

なぜ、ドイツのおしろを作ったかという、1年生のとき、きょうしつ外国の本をてきとうに1つとったら、それがドイツの本で、あたまにずっとこのこっていたのがおしろだったので、ドイツのおしろをつくりました。

おしろを作るのはとてもたいへんでしたが、作ってよかったです。できたときはホッとしました。



《 卒業生だより 》

北海道の中学校での生活

井代 あん (2011年度卒)

私は6年間、わくわく子ども学校 & 箕面こどもの森学園に通ってました。そこで、すごく楽しい充実した小学校生活を過ごせました。こどもの森や、こどもの森のみんなが大好きなので、「卒業しても遊びに行きたい」と思っていました。でも、家の近くに行きたい中学校がなく、フリースクールも遠くて、北海道に引越すことに・・・

こどもの森に遊びに行きにくいので寂しいですが、「やっぱり近くの中学校に行くのは嫌だ!! 北海道の学校は、私が苦手な普通の中学校だけど、大阪より少人数だし、チャレンジしてみよう!」と、決めました。

実際、行ってみるとクラスの子もみんな個性的で面白く、すぐに打ち解けました。仲良しの2人とは同じパソコン部で、お祭りに誘ってもらったり、海に行ったりと休みの日も遊んでいます。勉強も、思っていたより期末テストでいい点が取れたり...と、なんとかやっています。期末も学力テストも、学年6位(39人中)でビックリ!!

文化祭では、ヨーヨーつりの模擬店を担当し、看板を作ったり、景品を決めたり...少しこどもの森の夏祭りを思い出したりして楽しかったです。合唱は、アルトのパートになり、朝練も頑張りました。部活では自由発表に参加。私は友達とボカロのパンダヒーローを踊りました♪

「こどもの森で学んだことが私の中で活きている」と中学校に上がり感じるが増えました。調理実習とか実験で、班のみんなに頼りにされるし(笑)。

こどもの森のみんなに会えないのは、すごく寂しいですが、これからもずっと、こどもの森を応援してます!! (2012年10月記)

2013年度スタッフ一覧表

Table with 2 columns: 職名 (Job Title) and 名前 (Name). Rows include: 学園長 (辻 正矩), 常勤スタッフ (藤田美保 (校長)、守安あゆみ), 専任スタッフ (中尾有里), 非常勤スタッフ (北出今日子、平嶋好美、松崎雅夫、芳仲磨由美), 学習サポーター (池田俊明、大北沙織、川勝真梨子、高原麗奈、田中直子、中嶋千賀、藤丸浩志), サポーター (茂木一), 事務スタッフ (中村幸子), 学外講師 (江角陸、道端慶一郎)

NPO 法人箕面こどもの森学園の事業活動 1月～3月

ロハス in こどもの森・春フェスタ

今年の「ロハス in こどもの森」は、「あそぶ! つくる! たべる!」というテーマで行いました。前回も出店されたフェアトレード雑貨のエスパーロ、はるちゃんのパン、ボディクレイ、葉根ごよみ、エコスクール、tukiko craft、よつ葉産直センター、そしてきんかんの会、学園スタッフによるストロー笛、実行委員のパン焼きなどお店が並びました。

イベントとして、古橋さんの紙芝居、はくさんまさたかさんの楽器づくりや箕面おやこ劇場のワークショップ。こどもの森学園は紹介ブースを出しました。今回初参加のおんらく市場、あひおひ、プーラジ エリ・ル・マツ・ドゥ・ラヴィ、こどもの森の雑貨屋、笑顔の種まき詩人など、19の団体や個人の参加がありました。

昨年は雨天で参加者が少なかったのですが、今回はお天気にも恵まれ、200名以上の方に来ていただきました。うららかな春の一日を楽しんでいただけたのではないのでしょうか。「ロハス」の名を冠しているのですから、単に「行事」で続けるのではなく、持続してゆくものとして次回につなげて行きたいと思えます。来年も楽しみにして下さい。(閑野)



エコスクールの活動(1月～3月)

こどもの森エコスクールは、冬も元気に活動を行いました。1月は吹田自然体験交流センターでの焚き火、2月はバレンタインをテーマにしたにじみ絵と北公園への散策、そして3月は「ロハス」での芋きんとんのワークショップと、大人と子どもそれぞれの楽しいときを過ごしながら、新たなコミュニケーションが生まれました。

さて、「大人と子どもが同じ時空間を共有しながらも、それぞれのやりたいことがある心地よい環境を創ろう」というコンセプトで活動を行ってきたエコスクールですが、この3月をもって終了ということになりました。参加し

てくださった皆様、応援していただいた方々に心よりお礼を申し上げます。このエコスクールで学んだ心地よい環境創りをこれからの活動に生かしていきたいと思っております。また集える機会があることを願っております。(西川)



7回開いた教育カフェ・マラソン

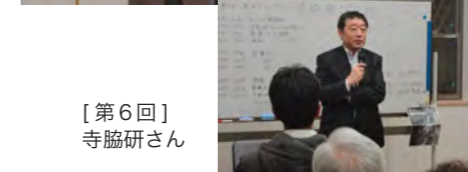
昨年10月から始まった教育カフェ・マラソンも4月で7回を数えました。マラソンに例えるなら、競技場を出たぐらいでしょうか。

老若男女が教育について2時間半語り合います。今振り返りますと、難しいと思うことが一つあります。それは、「自分の考えを相手に理解してもらえるように伝える」ことです。「話し合い」ではなく「語り合い」としている理由がここにあります。

「話す」とは意見を言うだけですが、「語る」とは相手に理解してもらうように言葉を選びわかりやすく伝えることです。学園での「ことば共同」と同じように、私たち大人も学んでいます。毎月1回、私たちと一緒に語り合いませんか。参加を心よりお待ちしております。(野本)



[第5回] 吉田敦彦さん



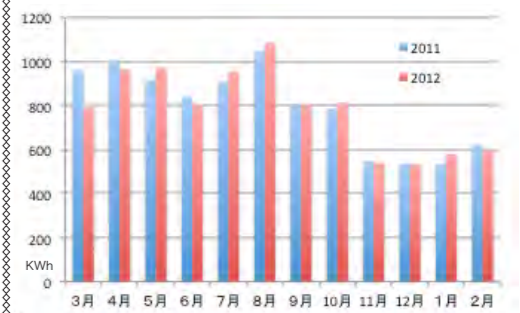
[第6回] 寺脇研さん

《過去の教育カフェ・マラソン》

- 第1回(10月12日) 湯浅 誠さん
第2回(11月30日) 宋 悟さん
第3回(12月14日) 武田 緑さん
第4回(1月18日) みんなが話題提供者
第5回(2月8日) 吉田 敦彦さん
第6回(3月15日) 寺脇 研さん
第7回(4月12日) 田上 時子さん

こどもの森市民共同発電所の稼働状況(2011～2012)

2011年3月から2013年2月までの2年間の太陽光発電所の稼働状況について報告します。下のグラフは、この間の月別の発電量を示したのですが、2年間の月別変化のパターンはほぼ同じ形をしています。最も発電量の多い月は8月(1084 KWh)です。その次に発電が多いのは、3月～7月と9月～10月で800～900 KWhです。11月から2月にかけての日が短く晴れ間の少ない時期は500～600 KWhくらいに発電量が落ちていきます。1年間の総発電量は、2011年が9,502 KWh、2012年が9434 KWhでした。月平均にすると790 KWhの発電量がありました。



2年間で発電した電気量は18,936 KWhで、そのうち5,325 KWh(28%)を学園で消費し、残りの13,584 KWh(72%)を電力会社に売りました。その金額は約649,000円(324,500円/年)でした。ふだんの生活ではムダに電気を使わないようにしているの、それだけ電力会社に売的分が多くなっています。(辻)

NPO 法人箕面こどもの森学園の活動にご支援を!

箕面こどもの森学園のさらなる発展のために、ご支援いただける方は、次のいずれかの方法でご協力願います。

- ◆正会員になる (年会費 6,000 円)
◆賛助会員になる (年会費 3,000 円)
◆資金・資材を寄付する
◆情報・労力を提供する

振込先: 加入者 NPO 法人箕面こどもの森学園
<郵便払込> 00980-7-232403
<郵便口座振込> 14020-68190721
<銀行振込>
ゆうちょ銀行四〇八支店(普) 6819072
池田泉州銀行小野原支店(普) 72258

※会員になられる方には入会申込書と払込用紙をお送りしますので、下記にご連絡ください。
TEL&FAX 072-735-7676
URL kodomomori@nifty.com